

納期相談 企画力自信有 コスト相談 メイジンジャパン 試作可小ロット



大型の『門形五面加工機』。3m×6.5m-1台、2.5m×5m-1台、2.5m×4m-1台を所有する

株式会社 鈴木製作所

溶接×切削技術で創造する 製缶・機械加工部品で 未来を創るものづくりに貢献

溶接と切削技術の融合が生む
一貫生産のメリット

鈴木製作所は、創業時より製缶、溶接主体の部品製作に取り組んできた。事業拡大による数回の工場移転に伴い、平成2年より設備投資に注力。以来、機械加工部品の製作にも着手するように。現在、長年のノウハウを持つ溶接・切削技術を用いた製缶部品、切削部品、さらにその両方の技術が必要とする製缶・機械加工部品を中核とした製品づくりに取り組んでいる。

溶接技術と切削技術の融合は、他社にはない製作提案を可能にしている。通常、製缶と切削加工は別の業者に出すことが多い。そのため、納期管理がばらばらになり、製作面でもコスト面でもトラブルになることがあるという。その点、社内で貫して製作できる同社は、コスト削減はもちろん、製作に関しても、提示された図面を見つくるだけでなく、あらゆる相談、プラスαの提案ができることが強みとなっている。

長きに渡る不況に悩まされている顧客企業が提示するのは、やはりコスト削減。しかし、同社では目先のコストにとらわれることなく、例えば「この部品は高くなるが、このあとの組立で人件費削減ができればトータルコストが削減できる」といった、先を見据えた提案に力を注ぐ。これが、多彩な業界から選ばれている理由のようだ。

『門形五面加工機』を導入 大型部品製作で 唯一無二の存在をめざす

同社が得意とするのは、大型機械の部品製作だ。大型の『門形五面加工機』を3台も導入し、最大3m×6.5mもの大型部品製作を、材料調達から製缶・機械加工



熟練の製缶技術を受け継いだ職人が、柔軟に対応している

まで、複数工程を一貫して受注できる体制を確立。精度の高い大型部品の機械加工を実現させている。

これらの強みを活かした主力製品は、製造装置の部品の土台となるフレーム、ベッド、架台。さらに、機械フレームに付随するプレート、溶接技術が必要とする真空チャンバー等も得意とする。特に、近年受注の多い液晶半導体関連は、大型部品でも求められる精度が厳しくなっている。その精度に応えられ、かつ大型部品を製作できる数少ない企業として、その存在力を発揮している。

技術を磨き、感性を磨く 常に最先端に携わる情報力で 未来を創るものづくりを

「最先端の技術に関わる仕事をする」ことをモットーとする同社。次に注力するのは、太陽電池等のエネルギー、環境関連生産設備に付帯する部品製造だ。「ものづくりが変わっても、新しいものを求める動きは変わらない。常にそこに近いところに関わっていかなければならないと思っています」と語る鈴木社長が大切にしているのは、情報力。技術を磨きながら、感性も磨く。そこで生まれる発想力、提案力がこれからのものづくりの武器となるはずだ。

Company Profile

株式会社鈴木製作所

住 所 〒579-8013
東大阪市西石切町6-3-36
TEL 072-981-9009
FAX 072-981-9008
創 業 昭和42年
資本金 1,000万円
従業員 15名
代表取締役 鈴木 健史

■主な事業内容

金属製品製造、機械部品製造等

■主な取引先

液晶製造メーカー、半導体製造メーカー、エネルギー関連メーカー、環境関連メーカー 等

<http://www.su-ss.com>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

無限に広がる“ものづくり”
常に追求し、続けていきます

代表取締役 鈴木 健史 さん



お客様と一緒に「ものづくり」に取り組む。それが私達のモットーです。理念の「未来を創るものづくり」に貢献する」には、私達が携わる製造物が生活で使われ、その先に繋がるものをも創っている、という想いが込められています。今後も留まることなく、常に「ものづくり」を追求していきたいと思っています。